

インフラ整備推進で、災害に強い街へ！

高橋 和義 (公明党)



【質問】 東久留米市公共下水道プランの策定から今年度で10年、これまでの雨水管渠整備の実績は。

【答弁】 元年度末で、整備延長約27km、整備面積179ha、雨水整備率13.9%。引き続き、社会資本整備総合交付金を活用し、計画的・効果的に整備を進め、道路冠水箇所の解消を図っていきたい。

【質問】 道路冠水により住宅が浸水する2次的被害への個別対応は。

【答弁】 台風や局地的豪雨により住宅へ浸水する箇所があり、道路管理者と連携し、土のう等の対応を今後も進めていきたい。

【質問】 東3・4・21号線の柳窪区間開通の進捗について、11月に行われた関係機関との協議では、どのような進展があったのか。

【答弁】 都市計画道路により分断される小平公園用地については、引き続き都が所有することを確認した。

コロナ禍の中、心のケアも重要です

関根 光浩 (公明党)



【質問】 本市の自殺対策計画事業のうち、①市民向けゲートキーパー講習会の内容と参加状況は、②啓発用リーフレットの配布状況は、③事例検討会の実施状況は。

【答弁】 ①ゲートキーパーの役割とうつ病について講師による講義、市職員からの自殺の心配のある方への対応の説明、地域活動を担う市民による活動意義と楽しさの紹介を内容とし、約40名が参加した。②福祉保健部の相談窓口、児童館、図書館、連絡所等で広く配布している。③今年度は2回実施している。

【質問】 終活登録事業について、本市も取り組みが必要になってくるのでは。

【答弁】 30年度以降、火葬を行う件数が増加傾向にあることを担当として認識している。そこで、終活登録事業については、今後先進市の情報収集を行っていきたく考えている。

下水道基本料金4カ月分が免除に

阿部 利恵子 (公明党)



【質問】 下水道使用料の基本料金の減免について、提案に至った考えは。

【市長】 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する状況を踏まえ、地方創生臨時交付金を活用し、3年6月〜9月検針分を減免する市民生活支援策を講じた。

【質問】 さらに減免期間の延長は。

【答弁】 国から同交付金の第3次補正の内容等が示された段階で市として有効活用できるよう取り組んでいきたい。

【質問】 死亡に伴う手続きは多岐にわたり、複数の課を歩かなければならない場合も多い。国が「おくやみコーナー」を設置する市町村の支援を始めており、これを活用しては。

【答弁】 本市では、故人の家族等から死亡届の提出があった際、一般的な手続きなどを伝え、必要な課へ案内している。国の支援システムや先進自治体の状況などを調査・研究していきたい。

新型コロナウイルスの社会的検査の実施を！

北村 龍太 (日本共産党)



【質問】 重症化リスクの高い高齢者施設等でPCR検査の社会的検査を行うべきと考えるが、見解を伺う。

【答弁】 都を実施主体として、希望する高齢者施設等に対し、社会的検査が実施される。また、都との共同の感染拡大防止対策推進事業は、社会的検査の要素があり、現時点で高齢者施設等でクラスター等が発生していない状況を踏まえ、医師会と協議の上、より効果的な仕組みを構築したものである。

【質問】 都市計画道路東3・4・13号線および3・4・21号線の自然環境調査について、①第1工区の黒目川の調査結果は、②第2工区の森の部分の調査を行う考えは。

【答弁】 ①植物は69種類、魚類は4種類確認され、公表に向け資料を作成している。②環境調査の範囲は、都の条例に基づき、都と協議、現地立ち合いの結果により決定している。

市政のここが聞きたい



東久留米市地域資源PRキャラクター 湧水の妖精 るるめちゃん

第4回定例会の一般質問は、12月3日・4日・7日・8日の4日間で行われ、21名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第4回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、2月下旬から、市ホームページ（PDF版は2月中旬）または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（本庁舎1階）でご覧いただけます。

学校卒業アルバム作成の在り方検討を

梶井 琢太 (未来政策フォーラム)



【質問】 市内の小学校4校で、今年卒業した児童の卒業アルバムができていない状況だが、現在までの経緯を伺う。

【答弁】 卒業アルバムはPTAの卒業対策委員会と学校側で作成するが、写真業者が失踪、8月末の死亡が判明。写真や文集データは4校全て回収できた。

【質問】 代金等、金額面はどうなるのか。

【答弁】 刑事事件ではなく、本人から事実確認もできず、訴訟は進められない。一部学校の任意組織での出来事で、費用の補助は難しい。保護者等や教職員から寄附を募る学校もある。不足分の対応を4校長と指導室で協議中。

【質問】 寄附は抜本的解決でなく、せめて今後の契約は学校や市で行うべき。

【答弁】 口約束の契約が問題。契約注意事項を検討し、学校に情報提供する。【質問】 公での契約方法を検討すべき。

ペーパーレス化をさらに推進！

佐藤 一郎 (未来政策フォーラム)



【質問】 文書管理システムは、4月から本稼働となる。同システムの方針で示す目標は、達成率を年次で区切って進めていくべきと考えるが。

【答弁】 いままで何をという具体的な目標はないが、方針で示した6つの目標に沿って進め、事務の効率化が図られていくものと考えられる。

【質問】 市の永年保存文書はかなりの量になっていくと思う。現在は市役所内では収まりきらず、文書の保管を外部に委託しているとも聞くが、永年保存文書は電子化して保存すべきでは。

【答弁】 永年保存文書は現在、総務課に引き継がれている分で約1600箱が保管されている。この公文書をすべて電子化すれば、保管スペースの問題や検索等の事務の効率化につながるが、電子化するにはかなりの時間と費用が見込まれる。現在の市の財政状況を勘案すると難しい。

何も決断できない市長にガツカリ

宮川 豊史 (久留米ハートネット)



【質問】 新型コロナウイルスが収束しないまま新年を迎える。国は感染防止と経済活動の両立を目指す。私は感染防止を優先すべきと考える。「GO TO」は収束してから。感染防止に専念すれば経済をほっておくのかと批判され、経済を優先すれば感染者が増える。と批判される。一番良くないのはどちらでも中途半端になること。私は感染防止に全力を尽くすことで希望の光が差し込むと信じる。市長は市役所を年末年始17連休にする決断をすべきでは。

【市長】 当市だけでは効果が不透明。【質問】 公共施設の貸し出しを一時中止すべきでは。

【市長】 市内で感染者数は増えているが、現時点で中止する考えはない。

【質問】 新年度予算はこれまでにない厳しさだが、市長には何も重点施策がない。一体何を考えているのか。

【市長】 最小経費で最大効果を目指す。

すべての市民により良い環境を

中野 淳子 (市民とともに歩む会)



【質問】 公共施設の室内等環境整備について、①感染症対策の点から新たに国から示された指針は、②ウイルス、PM2.5、スギ花粉等の基準値は。また、空気清浄機の設置は。

【答弁】 ①「寒冷な場面における感染防止対策の徹底等について」が通知され、庁内で共有している。適切な換気のため、CO2センサーを設置し、室内の二酸化炭素濃度を継続的に1000ppm以下、湿度を40%以上に保つことが推奨されている。健康課では、乳幼児健診などで換気状況をモニタリングするため、CO2測定器を導入している。②建築物衛生法での定めはない。気密性などを考慮しながら考えていきたい。

【質問】 市がこれまで行ってきた働き方改革の取り組みについて伺う。

【答弁】 ウェブサービスを利用した会議開催、財務会計システムのRPA活用による業務の自動化等を行ってきた。

子どもたちのために学校生活の充実を

篠宮 正明 (自民クラブ)



【質問】 学校における新型コロナウイルス感染症防止対策による影響と対応について、①学校行事の実施状況は、②スクール・サポート・スタッフの配置状況は、③学校と保護者の接点は。

【答弁】 ①授業時数の確保に努めた上で創意工夫して実施。子どもたちが企画し、実現するという満足感、充実感も得られている。②全小・中学校に1名〜3名配置され、消毒や印刷等の作業をしてもらうことで、教員の負担軽減が図られている。③臨時休業期間中、週1回以上電話確認を行ったことで、よりつながりができた。

【質問】 次期介護保険制度改正における地域区分の見直しについて伺う。

【答弁】 これまで5級地となっていたが、厚労省の資料によると北多摩北部圏域5市が3級地となる案が示された。3月までに省令・告示等の改正を経て設定される予定である。

待望の手塚氏作品銅像建立実現へ！

当麻 一哉 (自民クラブ)



【質問】 故手塚治虫氏の作品のキャラクターを活用したモニュメントの建立は、水と緑に続く観光資源となることが大いに期待される。モニュメント建立の経過と今後の進行について伺う。

【答弁】 モニュメントの建立等を目指すNPO法人と市商工会が連携し、誘客促進を目的としたモニュメントの製作が進められている。2月に東久留米駅西口へ設置を予定しており、市内外に向け周知を行う予定。

【質問】 9月に市立小・中学校全校を対象に実施された「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」はどのようなアンケートか伺う。

【答弁】 児童・生徒の意欲や満足感、学級集団の状態、ソーシャルスキル尺度に関するアンケートで、結果分析して適切な対応を図ることができ、不登校やいじめの防止、温かな人間関係づくりについて指導に生かすことができる。